空間デザイン　2009 年後期　講義スケジュール（構造デザイン分のみ）

回数	時間 15:00～16:30	内　　容	担当
1	11 月5日（木）	■ガイダンス ■わが国の景観デザイン史 ■景観という価値観と土木技術者の要件 日本古来の美の世界、明治維新後の近代技術移転、戦後の行政施策、豊かな時代のデザイン的混乱、現代デザインの潮流。近代土木遺産や今もなお使われ続け、地域のシンボルになっている土木施設の成り立ちや技術思想から、本来あるべき土木施設の姿を探る。	二羽教授 畑山講師
2	11 月１2日（木）	■構造デザイン概論 講義で言う構造デザインの定義と位置付け、授業科目の構成など	三木教授 二羽教授
3	11 月 19 日（木）	■演習課題「歩道橋デザイン」の解説 ①建設予定地の選択（二つの立地条件を用意する）。②デザイン方針を考え、企画書を作成する、③橋梁計画案を作成する。④模型を制作する。⑤プレゼンを準備する。 ■歩道橋デザインの事例紹介（1） 世界の歩道橋デザインの実例を紹介する（ソルフェリーノ、ロンドンミレニアム、シュツットガルトの歩道橋群など。同時に構造デザイナーの存在も紹介する）。	松井講師
4	11 月 26 日（木）	■形の操作性 ■景観工学の基礎 自然条件と土木施設との関係や「かたちを決める論理」の種類を学ぶ。また、道路という線上のインフラについて、地域計画とのかかわりと実際のランドスケープデザインを紹介する。 土木景観に関する基本用語と基本的な景観分析・景観予測手法を解説する。最後に、景観デザインの標準的な手順を実例を使いながら解説する。	畑山講師
5	12 月３日（木）	■発想の訓練 ものを実際に見る事、本を読む事、旅をする事、ディスカッションする事、すなわち現地現人現物の実践がデザインを考える基本で、右脳が重要であることを伝える。発想を得るためのスケッチ、模型などについても学ぶ。 ■プレゼンテーション 自分の考えを相手に伝えるためには、論理的にシナリオを組み立て、効果的なキーワードを定め、適度に図表を織り込みながら、プレゼンすること、すなわち左脳も重要であることを伝える。 ■歩道橋デザインの事例紹介（2） 講師の実例を紹介する（ふれあい橋、白根公園歩道橋、簗見橋、大泉学園駅前デッキ、希望の橋、川崎ミューザデッキ）。	松井講師
6	12 月 10 日（木）	■構造デザインの実践 実際のプロジェクトを紹介しながら、橋梁・トンネル・容器構造物・ダム・擁壁・のり面等の構造物の形態操作の可能性を論じる。	畑山講師
7	12 月 17 日（木）	■課題の中間報告会 受講者から歩道橋デザインの企画を発表させ、指導する。	松井講師
8	１月７日（木）	■技術の変遷～橋の進化～ 主に産業革命以降、橋の形が、材料の進化、生活様式の変化、に呼応するように変遷してきた事を学び、現代の橋梁デザインに求められているポイントを掴む。 ■演習課題についての質疑応答 次週に迫る発表会に備えて、質問を受け付ける。	松井講師
9	１月 21 日（木）	■第一課題の作品審査会 プレゼンテーションと質疑応答、講評	二羽教授 畑山講師 松井講師
10	１月 28 日（木）	■第二課題の作品審査会 プレゼンテーションと質疑応答、講評	二羽教授 畑山講師 松井講師
11	２月４日（木）	予備日	